

平成20年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	1. 道路新設改良費(道路建設課分)			
項	2. 道路橋梁費	細事業名				
目	3. 道路新設改良費	担当課・係	道路建設課	(執行課: 道路建設課)		

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位: 千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳	国庫支出金	地方債							一般財源
要求額	106,050	179,995	要求	50,000	56,050							73,945
決定額			決定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施策	多彩なふれあいが広がるまちづくり/生活基盤が充実したまちづくり/計画的に幹線道路の整備を進めます。						
	【幹線道路の整備に関する業務】	施策体系コード	05-02-01-10-10			事業番号	167-1		
	・ 級幹線市道の整備計画の立案・用地買収関係・工事関係	総事業費	867,400千円			事業期間	平成18年度～平成22年度		
		年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度		
			163,400	194,000	170,000	170,000	170,000		

(事業実施に関する根拠法令)
 道路法
 道路構造令

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) ・ 級幹線道路の拡幅改良等を行い、通学児童を含む社会的交通弱者等をはじめ、道路通行の安全性を確保するとともに、都市計画道路を軸とした道路体系を確立する。 平成20年度は、市道 - 42号線(下根地先)、下勝田 - 31号線の道路改良大佐倉 - 11号線待避所設置、岩富6 - 263号線路体盛土等の工事を実施する。また、臼井田 - 42号線、上志津 - 43号線の測量、道路拡幅用地の取得家屋補償等の事業を実施する。	(事業の目的) 市道の内、 ・ 級幹線道路の拡幅改良等を行うことにより、都市計画道路を軸とした道路網を確立し、市民生活の安心、安全、快適性の向上をめざす。	(事業の効果) 道路拡幅や歩道整備による道路利用者の安全性向上、また幹線道路網を整備することによる渋滞緩和や交通事故削減など、市民生活の安全性や快適性の向上、さらには地域経済の活性化が図れる。
(事業実施上の問題点) 厳しい財政状況下での公共事業予算の確保は、住民からの要望など、市民ニーズに対応した事業実施において最大の課題である。 また、道路拡幅用地の確保における地権者の協力が得られず、整備計画に影響が出ている路線がある。	(前年度からの見直し点) 限られた予算に対応するため、路線全体ではなく部分改良などにより一定の効果が得られるよう創意工夫をしている。	(見積についての特記事項) 予算に対応した、事業の選択と集中の徹底、また効率的な施工方法を検討し、最小の経費で最大の効果が得られるよう努める。